

# 1 年生時間割作成シートの記入手順

## 0. 『人文社会科学部履修要項 (20L 用)』は卒業するまで使います

- ・ 入学年度の履修要件が卒業まで適用されます。過年次分を含めて、履修コーナーにも配置してあります。

## 1. 履修計画表 (授業時間割) の作成に必要なものを用意します

- ・ 『令和2年度大学共通教育履修案内(基盤教育・全学共通プログラム)』
- ・ 『令和2年度大学共通教育開講授業科目一覧(基盤教育科目・全学共通科目)』
- ・ 『令和2年度人文社会科学部履修要項 (20L 用)』
- ・ 『令和2年度(2020年度)専門科目の授業計画』

## 2. 1年間に履修する単位を確認します

- ① 卒業までに修得する基盤教育科目の単位は26単位です(『大学共通教育履修案内』3頁)。このうち、1年間に履修する単位は17～19単位です。残り5～7単位は2年次に、さらに残り2単位を3年次に履修します。
- ② この17～19単位を、第1Q第2Q(前期)と第3Q第4Q(後期)に分けて履修します。履修できなかった科目は、2年次以降に再度履修します。(再履修については2年生ガイダンスで説明)
- ③ 再履修にならないように、時間割に余裕を持たせましょう。また、履修登録単位数の上限(CAP制)にも注意しましょう。⇒年間46単位を上限、目安として半期23単位(『大学共通教育履修案内』36頁)。

## 3. 人文社会科学部法律経済学科授業時間割を確認します

- ① 『大学共通教育履修案内』48頁「(6)基盤教育科目の授業時間割」の表を参照。
- ② この表の空欄部分は、基盤教育科目の授業はありません。
- ③ 情報リテラシーのバンドは3つありますが、実際はこの内の1つのみ履修しますので、残りの2つは自習時間となります。
- ④ プラクティカル・イングリッシュ(=PE)のバンドが前期2つ、後期1つありますが、前期は火曜日2講時と木曜日1講時の2バンドとも履修します。前期は2つのバンド双方あわせて2単位の1科目です。後期は1つのバンドで1科目1単位です。
- ⑤ この表の空欄部分には人文社会科学部の専門科目を入れます。
- ⑥ 専門科目も入らない完全な空欄部分は、予習・復習をする自習時間にあててください。

## 4. 時間割表を作成してみましょう

- ・ 『大学共通教育履修案内』28頁「3-1 時間割の作成」を参照。
- ・ 時間割表は、次の①～⑩の順番で決めていくと作成しやすいと思います。
- ・ 時間割表を作る前に、授業科目ごとに該当する『大学共通教育履修案内』の頁を探し、必ず読んでください。
- ・ 授業題目を『大学共通教育開講授業科目一覧』7頁以下、教務情報ポータルシステムのシラバス(以下のアドレス参照)などを参考にして選択してください(<https://idc.ibaraki.ac.jp/portal/>)。
- ・ 科目によっては受講者の調整(制限)がおこなわれることがあります。あらかじめ第2、第3希望の授業を決めておくとよいでしょう。

## ◎前学期

- ①大学入門ゼミ
- ②茨城学
- ③プラクティカル・イングリッシュ
- ④情報リテラシー、および、初修外国語を含む異文化コミュニケーション
- ⑤心と体の健康
- ⑥科学の基礎
- ⑦初修外国語
- ⑧自学科 学部基礎科目（全科目(4科目)8単位必修)
- ⑨他学科 学部基礎科目（2科目 4単位選択必修)
- ⑩プログラムその他の科目（自由履修の単位へ充当）

(なお、後学期は下記の順番で決めていくと作成しやすいと思います。)

## ◎後学期

- ①学科基礎ゼミナール
- ②3Q 茨城学
- ③プラクティカル・イングリッシュ
- ④心と体の健康（4月に決定済み）
- ⑤初修外国語を含む異文化コミュニケーション
- ⑥ヒューマニティーズパフォーマンス&アート
- ⑦自然・環境と人間
- ⑧グローバル化と人間社会
- ⑨自学科専門科目（特にメジャー要件科目を中心に）
- ⑩プログラムその他の科目（自由履修の単位へ充当）